



期分けの式を実施 2学期がスタート

10日(金)で、105日間の第1学期が終わりました。期分けの式を行い、校長から、自分で考え行動しできることを増やしていくことの大切さ、またそれ続けることの尊さを話しました。また、各学級の代表児童からは、1学期の振り返りと2学期の抱負の発表がありました。読書感想文や書写コンクールの表彰も併せて行いました。

学級では、担任の先生から通知票を受け取り、一人一人これまで頑張ったことの賞賛と、今後の取組への激励がありました。今週からは2学期が始まっています。新たな目標をもって、ますます頑張っていきましょう。



1・2年学級代表児童より

「一がっきがんばったこと」

ほくが、一がっきがんばったことは、二つあります。

一つめは、さんすうの三つのかすのけいさんです。たしたり、ひいたりするのがむずかしかったです。でも、よくみて、かんがえたら、かんたんに出来ました。

二つめは、うんどうかいです。ほくが一ばんがんばったしゅもくは、さいごのぜんこうりレーです。二ばんめにはしる人にはやくバトンをわたせるように、ぜんりよくではしりました。ちからをだせてよかったです。

二がっきにがんばりたいことは、すこうでえをうまくかけるようにすることです。それから、かんじをかくのがすきなので、たくさんれんしゅうして、むずかしいかんじをおぼえたいです。



おめでとうございます!

式の後で、田村地区の読書感想文コンクールと書写コンクールの表彰を行いました。みなさんの頑張りで数多くの出品があり、受賞者も多かったです。これからますますの活躍に期待です。

3・4年学級代表児童より

「一学きにがんばったこと」

わたしが一学きにがんばったことは、算数です。二年生のころは、計算ががてで算数がきらいでした。わけはうまく計算が出来ないとくやしいからです。でも三年生になったら計算が上手になったので、算数が好きになりました。

もう一つは、ローマ字をがんばってれんしゅうしたことです。はじめてローマ字をべんきょうしたときはローマ字のきまりがよくわからなくてあきらめようとおもいました。でももういちどべんきょうしたら、ローマ字のきまりが分かってうれしかったです。なのでローマ字が好きになりました。

三つ目はいいんかいをがんばったことです。わたしは、けんこうパワフルいいんかいに入りました。スポーツしゅうかいやげきをしました。わたしが一番がんばったのは、げきです。みんなの前でげきをするのはきんちょうしたけど、うまくできてよかったです。

二学きにがんばりたいことは、ローマ字です。わけは、今は教かしょを見ないと名前をかけないの、教かしょなしでみようじと名前をかけるように、もっとローマ字をべんきょうしたいです。また、わたしは本がすきなので、みんなに本を好きになってもらえるように、よみかせや本のしょうかいをしたいです。

5・6年学級代表児童より

「一学期の反省と二学期の目標」

私が一学期にがんばろうと思ったことは、二つある。

一つ目は、国語の漢字だ。五年生になると、四年生の時よりむずかしい漢字が出てくる。読み方や筆順がむずかしい漢字が出てきたので、漢字ドリルなどで勉強した。夏休み前のテストでは、がんばって書けたと思う。

二つ目は、マラソン記録会だ。去年は十二人中七位で、今年は、九人中九位だった。目標は去年より一つでも順位を上げることだったが、なかなかできなかった。しかし、最後まで走りきることができたのでよかったと思う。

私の二学期の目標も二つある。

一つ目は、私がものすごい苦手としている作文や日記を、もっとスラスラ書けるようになることだ。宿題の作文を書くのに長い時間がかかってしまう。目標を達成するために、色々な本を読んだり、見たことや聞いたこと、感想をメモしたり、書いたことを人に話したりして、それをうまく文章に書けるようにしたい。

二つ目は、跳び箱となわ跳びだ。跳び箱は去年六段跳べたので、七段に挑戦してみたい。なわ跳びは、あや跳びと交差跳びをそれぞれ十回は跳べるようにがんばって練習したい。また、持久跳びは一分以上、二重跳びも十回以上跳べるようにしたい。



担任の先生から、通知票だけでは伝えきれない、105日間の頑張りへの賞賛と、2学期に向けた激励がありました。

安全な生活を目指し 生活集会

14日(火)、第2学期が始まりました。3連休明けとあって、少し疲れも見え始めるスタートとなりましたが、朝の時間に臨時の生活集会を行いました。

「安全」な生活を心がけることについて考えました。1学期は、大きな事故やトラブルにこそありませんでしたが、室内を走ってしまったり、つい周りが見えなくなってぶつかってしまったりして、小さなケガが何度か発生しました。

また、何気ない自分の言動が、他人にとっては負担になったり傷ついたりということも皆無ではありませんでした。

みんなが主役の中郷小学校、誰もが安心・安全な生活を送れるよう、集団生活の中で少しずつ改善していきたいものです。



全校生でダンス教室

特別非常勤の先生を講師にお招きし、6日(月)、全校生でダンス教室を行いました。ひとつひとつの動きを丁寧に教えていただき、楽しく興味をもって取り組むことができました。先生の問いかけにも瞬時に反応し、意欲的に集中して取り組んでいる様子を見ることができました。

ダンス教室は20日にも開催し、11月のさくらっ子フェスティバルで練習の成果を披露する予定です。



清潔検査 パーフェクト賞

10日(金)のお昼の時間に、健康パワフル委員会が、1学期の清潔検査パーフェクト賞の表彰を行いました。

子どもたちが自発的に行う委員会活動が活性化することは素晴らしいことです。



校長室から

「読書ってバーチャルリアリティ!？」

秋と言えば……。スポーツや芸術、食欲もいいですが、今日は「読書の秋」について。

読書が大好きな児童に大好きな理由を聞いてみました。「楽しい。自分が話に入り込んで話の先が楽しみになるから。」がその答えでした。

人間が得る知識は、そのほとんどが「経験値」です。自分が実際に見たり聞いたり、肌で感じたりするからこそ、人間は成長していきます。真っ白で生まれてきた赤ちゃんは、こうして大人になっていきます。つまり、「知らないことは知らない」のです。

しかし、読書はどうでしょう。物語の世界に入ると、まるで自分が主人公になったような気分になります。冒険の物語を読めば、遠い国を旅したような気分になります。スポーツ選手の話を読めば、自分まで一緒に汗を流しているような気分になります。長い年月をかけて様々な経験をしてきた偉人の話を読めば、まるで、自分事のように「知ったかぶり」だってできます。こうした読書の「疑似体験」を通して、人としての幅が広がっていくのだと、私は思います。

読書は「最高のVR体験」だという人もいます。活字から想像を広げることで、脳は場面や感情を再現し、まるで本当に体験しているかのような感覚を得ることができるのだそうです。「読書の秋」、何か面白い本に出会えるといいですね。

セレクト給食

9日(木)はセレクト給食の日でした。「豚肉のみそ風味焼き」か「オムレツ」のどちらかを選びました。

栄養教諭から、主菜は体をつくるものになること、卵はメインのおかずとしてだけではなく料理のおいしさを引き立ててくれるものであること、豚肉は、効率よくエネルギーを生み出すビタミンが含まれていることなどの話がありました。自分で選んだ給食をおいしくいただきました。



デンソー福島工場見学 10/9

8日(水)に、5年生が中妻小と合同で、デンソー福島工場を見学しました。お忙しい中、見学を受け入れていただきましたデンソー福島工場の皆様、ありがとうございました。QRコードが開発された経緯など、見学を通して学んだことを、これからの学習に生かしていきます。



第2回三春町立小学校開校準備委員会(全体会)が行われました

9月26日(金)に、総務部、学校運営部、PTA部の3部会がそろって、これまでそれぞれ2回ずつ開催し協議していた内容のすりあわせを行いました。主な協議内容は

- ① 校名、校章、校歌、ジャージについて
- ② 開校式の運営方法について
- ③ 滝ザクラを守る会の継承について
- ④ 令和9年度のクラス替えについて
- ⑤ 三春小環境委員会の草刈りについて

いずれも、すでに決定した内容があるわけではありません。今後さらに検討を続けて参ります。